



ら 藍構造システム

# はじめに

このたびは、ネットワーク版アプリケーションをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書では、(株)構造システムが提供する「ネットワーク版ライセンス管理プログラム k-Server Ver.2」(以下、「k-Server」と呼びます)の機能の概要と基本的な操作方法について説明しています。

#### 注意事項

- 1. 本プログラムおよびマニュアルの一部または全部を、無断で複写・転載することは禁止されています。
- 2. 本プログラムおよびマニュアルの内容につきましては、将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本プログラムを運用した結果生じた金銭上の損害・逸失利益などにつきましては、たとえ、本プログラムにエラーがあったといたしましても、その責任を負いかねますので、ご了承ください。

●Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書およびプログラムの著作権 © 2002-2022 株式会社 構造システム

# 本書の構成

本書では Windows10 上で使用しているものとして、k-Server の概要および基本的な操作方法について説明 しています (Windows の操作方法についての詳細は、それぞれのマニュアルを参照してください。)。

# 一 概 要 編

k-Server を使用する際の機能の概要、操作などについて説明しています。プログラムを使用する 前に必ずお読みください。

### [] リファレンス編

ネットワーク版ライセンス管理プログラム「k-Server」とライセンス利用状況の確認を行う「k-Server エージェント」の使用方法のリファレンスです。

# 日母録

トラブルシューティングなどについて説明しています。

# マニュアルの表記

# ● マウス操作について

本書でのマウス操作の表記については次のとおりです。

#### クリック 右クリック マウスの左ボタンを1回押し マウスの右ボタンを1回押し すぐに離すこと すぐに離すこと ダブルクリック ドラッグ マウスの左ボタンを押したまま マウスの左ボタンをすばやく 2回押して離すこと 移動すること Microsoft IntelliMouse をご使用の場合は、 ホイールクリック ホイール回転 ホイールを前後に回すこと ホイールを1回押して すぐに離すこと

# ● キー表記について

本書でのキー表記については、それぞれ枠で囲んで説明しています(例: Ctrl キー)。 また、キーボードの種類により、キーの表面に書かれている文字が異なる場合があります。

概要編	1	
1.k-Serverの動作環境		2
2. インストール方法		3
■k-Server のセットアップ方法	3	
■k-Server エージェントのセットアップ方法	3	
■ネットワーク版アプリケーションのセットアップ方法	4	
3. k-Server の動作の仕組み		5
■k-Server の構成例	5	

# リファレンス編

1. k-Server		. 8
■k-Server (Windows サービス版)の起動方法	8	
■k-Server の起動方法	9	
■ポップアップメニュー	10	
■k-Server 設定	11	
2. k-Server エージェント		13
■k-Server エージェントの起動方法	13	
■ポップアップメニュー	14	
3. ネットワーク版アプリケーション		16
■ネットワーク版アプリケーションの起動方法	16	

# 付録

-1	

7

1.トラブルシューティング		18
■ネットワーク版アプリケーションが起動しない	18	
■k-Server エージェントが起動しない	19	
■その他の現象	19	
2. Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法	£	20
■設定方法	21	



1.k-Serverの動作環境	2
2. インストール方法	3
3. k-Server の動作の仕組み	5

# 1 k-Server の動作環境

ネットワーク版ライセンス管理プログラム「k-Server」は、使用したいアプリケーションプログラムがその時 点で使用可能かどうかを認証するプログラムになっています。

ネットワーク版を使用するために、ネットワークに繋がっているコンピューターのうちのいずれかに、k-Server をインストールする必要があります。

k-Server をインストールしたコンピューター(ライセンスサーバー)には、ライセンスモジュールを常時接続し ておき、ネットワーク版アプリケーション(BUS Series や DRA-CAD など)からのライセンス発行要求を処理 するようにします。

k-Server には、ライセンスを管理するサーバープログラムの他にライセンスの利用状況の確認が行える「k-Server エージェント」が付属しています。

#### ●k-Server 動作環境

対応 OS	: Microsoft Windows 8.1 (RT は除く)
	: Microsoft Windows 10(Mobile/S は除く)
	: Microsoft Windows 11(S モードは除く)
	: Microsoft Windows Server 2016(Server Core、Nano Server では動作しません)
	: Microsoft Windows Server 2019(Server Core、Nano Server では動作しません)
	: Microsoft Windows Server 2022 (Server Core、Nano Server では動作しません)
CPU	: OS が推奨する CPU
RAM	: OS が推奨する RAM
HD 容量	: インストール時の空き容量 100MB 以上
その他	: LAN でネットワーク接続されていること
	: TCP/IP プロトコルがインストールされていること
	:USB ポートが必要
	: ネットワーク上の異なるセグメント間での動作保証はしておりません

●k-Server エージェント動作環境

対応 OS	: Microsoft Windows 8.1 (RT は除く)		
	: Microsoft Windows 10(Mobile/S は除く)		
	: Microsoft Windows 11(S モードは除く)		
CPU	: OS が推奨する CPU		
RAM	: OS が推奨する RAM		
HD 容量	: インストール時の空き容量 100MB 以上		

その他 : LAN でネットワーク接続されていること : TCP/IP プロトコルがインストールされていること

#### ●ネットワーク版アプリケーション動作環境

それぞれのアプリケーションの動作環境に準じますので、それぞれの操作マニュアルなどを参照してください。

# 2 インストール方法

ネットワーク版には以下のアプリケーションが含まれています。

#### •k-Server

ネットワーク版アプリケーションのライセンス管理を行うアプリケーション。 必ずセットアップしてください。

#### ・k-Server エージェント

k-Server と通信を行い、ライセンスの利用状況の確認が行えるユーティリティプログラムです。k-Server が起動していないコンピューターからでもライセンス数や現在の空きライセンス数を取得する ことができるアプリケーションです。

必要なければセットアップしなくてもかまいません。

#### ●ネットワーク版アプリケーション

必ずセットアップしてください。

#### ■k-Server のセットアップ方法

セットアップ CD をセットすると「ネットワーク版セットアップについて」の html ファイルが自動的に 起動します(自動的に起動しない場合はエクスプローラを起動して、CD をセットしているドライブを選 択し、ファイル一覧から setup.html をダブルクリックして起動してください)。

「k-Server のインストール」から[k-Server をインストールする]をクリックすると、k-Server のセットアップが起動します。セットアップ画面にしたがって、セットアップ作業を進めてください。

また、セットアップ終了後、セットアップを行ったコンピューターの USB ポートにライセンスモジュー ルを接続してください。

# ■k-Server エージェントのセットアップ方法

セットアップ CD をセットすると「ネットワーク版セットアップについて」の html ファイルが自動的に 起動します(自動的に起動しない場合はエクスプローラを起動して、CD をセットしているドライブを選 択し、ファイル一覧から setup.html をダブルクリックして起動してください)。

「k-Server のインストール」から[k-Server エージェントをインストールする]をクリックすると、k-Server エ ージェントのセットアップが起動します。セットアップ画面にしたがって、セットアップ作業を進めてく ださい。

# ■ネットワーク版アプリケーションのセットアップ方法

ネットワーク版アプリケーションのセットアップ方法には、各クライアントコンピューターのローカルド ライブにセットアップする方法とファイルサーバーなどのネットワークドライブにセットアップする方法 の2種類あります。

#### ●各クライアントコンピューターにセットアップする場合

ネットワーク版アプリケーションの実行ファイルは、各コンピューターのハードディスクドライブに セットアップされます。



この場合、各コンピューターでネットワーク版アプリケーションを起動しても、それぞれのコンピュー ターにセットアップされているネットワーク版アプリケーションを使用しますので、ネットワークの負 荷を低減します。

#### ●ネットワークドライブにインストールする場合(DRA-CAD のみ)

はじめに、実際に起動するネットワーク版アプリケーションの実行ファイルがネットワークドライブに セットアップされます。その後、ネットワーク版アプリケーションを使用する各コンピューターで、セ ットアップ作業を行います。このセットアップ作業は、前述の各クライアントコンピューターにセット アップした場合とは違い、クライアントコンピューターの環境設定を行うだけで、実際に起動する実行 ファイルのインストール作業は行われません。

したがって、インストールやアップグレード作業が1回で済ますことができます(その場合、各クライ アントコンピューターの再セットアップは必要ありません)ので、ネットワーク管理者、プログラム管 理者の負担が減り、さらに全員が同じバージョンで作業を進められるという利点があります。しかし、 ネットワークを使用して、ネットワーク版アプリケーションが動作するので、多少ネットワークに負荷 がかかります。

すべてのコンピューターは、ネットワーク版アプリケーションをセットアップしたコンピューターの実行 ファイルを起動します。



# 3 k-Server の動作の仕組み

ネットワーク版では、k-Server とネットワーク版アプリケーション (BUS Series や DRA-CAD など)が、TCP/IP プロトコルを使用して通信を行います。このため、ネットワーク版アプリケーションを使用する場合、各コン ピューターが相互に TCP/IP 接続をされていなければなりません。

ネットワーク版アプリケーションが起動する際、k-Server と通信を行い、現在起動中のネットワーク版アプリケーションのユーザー数とライセンスモジュールで設定されているユーザーライセンス数を比べます。

そこで、ユーザー数がライセンス数を超えていない場合、ネットワーク版アプリケーションが起動します。また、k-Server を起動するコンピューターにライセンスモジュールが接続されていないと k-Server は起動できません。

## ■k-Server の構成例

以下では、いくつかの使用形態を例に k-Server の仕組みを解説します。



このようなネットワーク構成で、ユーザーライセンス数が5の場合、クライアントの6台中5台がネット ワーク版アプリケーションを同時に起動、使用することが可能です。

たとえば、クライアントコンピューター1から5までがネットワーク版アプリケーションを同時に起動している場合、クライアントコンピューター6はネットワーク版アプリケーションを起動することができません。



この場合、クライアントコンピューター1から5で起動しているネットワーク版アプリケーションを1つ 以上終了すれば、クライアントコンピューター6はネットワーク版アプリケーションを起動させることが 可能となります。

また、以下のように k-Server とネットワーク版アプリケーションを同一のコンピューターで起動することも可能です。その場合も、前述のルールにしたがってユーザーライセンス数のチェックが行われます。



### 補足

ハードプロテクト(ライセンスモジュール)を取り替えることで、ユーザーライセンス数を追加することができます。
 ライセンスの追加購入については、弊社営業本部までお問い合わせください。



1. k-Server	8
2. k-Server エージェント	13
3.ネットワーク版アプリケーション	16

# 1 k-Server

ネットワーク版ライセンス管理プログラム「k-Server」の使用方法のリファレンスです。

# ■k-Server (Windows サービス版)の起動方法

Windows サービス版をインストールした場合は、k-Server の起動は必要ありません。k-Server のインストール時またはPCの起動時に自動的にk-Server が起動されます。 以下の手順で起動状態を確認することができます。

手順1 : Microsoft Windows 8.1 の場合

[スタート] 画面の左下にある ()ボタンをクリックし、アプリビューを表示する アプリビューの「KozoSystem」のグループから、[Windows サービスの管理]のプログラムアイ コン ()。をクリックします。

Microsoft Windows 10 の場合

Windows の (スタート) ボタンをクリックし、スタートメニューを表示する スタートメニューから[KozoSystem]→[Windows サービスの管理]をクリックします。

#### 手順2 : サービスダイアログが表示される

サービスの一覧でk-Server Ver.2の項目を確認することができます。

i Services					-		×
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)						
♦ ♦	🛓 🛛 🖬 🕨 🖉 🖬 🖬 🕼						
🧠 サービス (ローカル)	◎ サービス (ローカル)						
	k-Server Ver.2	名前 ^	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン	× ^
	<u>サービスの停止</u> サービスの再起動	<ul> <li>Quarter Internet Connection Sharin</li> <li>Quarter IP Helper</li> <li>Quarter IP 変換構成サービス</li> </ul>	ホーム 接続 v4と	実行中	手動 (トリガー開始) 自動 手動 (トリガー開始)	Local Local Local	S S S
		🏟 IPQ Management Service	Servi	実行中	自動 (遅延開始、ト	Local	S
		🔍 IPsec Policy Agent	インタ	実行中	手動(トリガー開始)	Netw	or
		k-Server Ver.2		実行中	自動	Local	S
		🥋 KtmRm for Distributed Trans	分散		手動 (トリガー開始)	Netwo	or
		🎑 Link-Layer Topology Discov	PC と		手動	Local	S
		🎑 Local Session Manager	口一力	実行中	自動	Local	S
		MessagingService_3e0ac982	テキス		手動 (トリガー開始)	Local	S
		🥋 Microsoft (R) 診断ハブ標準コ	診断		手動	Local	S
		🎑 Microsoft Account Sign-in	ユーザ		手動(トリガー開始)	Local	S
		🆏 Microsoft App-V Client	Man		無効	Local	S
		🆏 Microsoft iSCSI Initiator Ser	このコ		手動	Local	S
		🥋 Microsoft Office ClickToRun	Micr	実行中	自動	Local	S 🗸
		<					>
	∖拡張√標準/						

# ■k-Server の起動方法

ネットワーク版アプリケーションを利用するためには、必ず k-Server が起動している必要があります。 以下の手順で起動します。

- 手順1 : ライセンスモジュールの接続を確認する k-Server は、ライセンスを管理するための情報をライセンスモジュールによって識別していま す。k-Server を運用するためには、k-Server を動作させるコンピューターに必ずライセンスモ ジュールを接続してから実行してください。
- 手順2 : Microsoft Windows 8.1 の場合 [スタート]画面の左下にある ①ボタンをクリックし、アプリビューを表示する アプリビューの「KozoSystem」のグループから、[k-Server Ver.2]のプログラムアイコン [をク リックします。

Microsoft Windows 10 の場合

Windows の  $\blacksquare$  (スタート) ボタンをクリックし、スタートメニューを表示する スタートメニューから [KozoSystem]  $\rightarrow$  [k-Server Ver.2] をクリックします。

#### 手順3 : タスクトレイにアイコンが表示される

k-Server が起動すると、タスクトレイにアイコンが表示されます。



タスクトレイの k-Server のアイコンの上に、マウスカーソルを持っていくと、以下のように IP アドレスが表示されますので、記録しておきます。

k-Server へ接続するコンピューターで必要になることがあります。



#### 補足

・k-Server を長期間連続運用される場合は、k-Server のメンテナンス機能と合わせて、Windows のタスクマネージャ によるプログラムの起動終了のスケジューリング (k-Server (Windows サービス版)の場合はサービスのプロパティに よる回復設定など)を設定することをお勧めします。

# ■ポップアップメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。

k-Serverの終了(E)
バージョン情報(A)
へレプ(H)

#### ①k-Server の終了

k-Server を終了します。

#### ②バージョン情報

k-Server のバージョン情報を表示します。

k-Server Ø	)バージョン情報	
8	k-Server Ver.2 Version 2.2.2 Copyright (C) 2020 KOZO S	OK

### ③ヘルプ

Adobe Reader が起動し、k-Server Ver.2 導入マニュアルを PDF 文書で表示します(詳細は「はじめに お読みください」を参照)。

## 補足

・k-Server (Windows サービス版)では、タスクトレイに k-Server のアイコンは表示されません。
 サービスダイアログ内の k-Server の項目をクリックし、操作メニューから k-Server の起動、終了などの操作を行います。

Service:	s								-		×
ファイル(F)	操作(	(A) 表示(V)	ヘルプ(H)								
(+ +) [		開始(S)			Ⅱ IÞ						
Q. サービス (		停止(O)	45								
		一時停止(U)				A. ^	500 DD	111.45	コクリアルゴの研想	n des	
		再開(M)				14月11	27C 99	状態	スタートアップの種類	0945	
		再起動(E)				Section Sharin	π−⊿		手動(トリカー開始)	Local	č
				_		IP Helper	接続	実行甲	自動	Local	š
		すべてのタスク(K)		·		QAIP 変換構成サービス	v4 と	-	手動(トリカー開始)	Local	š
		最新の情報に更	新(F)			IPQ Management Service	Servi	実行中	自動 (遅延開始、ト	Local	š
		ACTIVITY IN TAILORS	an(17	_		IPsec Policy Agent	129	実行中	手動(トリカー開始)	Netwo	ď
		プロパティ(R)				k-Server Ver.2		実行中	自動	Local	S
		ヘルプ(H)				KtmRm for Distributed Irans	分散		手動(トリカー開始)	Netwo	/T
l	_					Sink-Layer lopology Discov	PC 2		手動	Local	š
						Local Session Manager	U-7J	実行甲	目前	Local	š
						MessagingService_3e0ac982	テキス		手動(トリカー開始)	Local	
						QA Microsoft (R) 診断八フ標準コ	診断		手動	Local	č
						Microsoft Account Sign-in	1-7		手動(トリカー開始)	Local	č
						Microsoft App-V Client	Man		無効	Local	
						Microsoft iSCSI Initiator Ser	このコ	-	手動	Local	š
						Microsoft Office ClickToRun	Micr	実行中	自動	Local	š Y
		++25 (+3	see /			(					,
			( <del>1</del>								

# ■k-Server 設定

#### Microsoft Windows 8.1 の場合

[スタート]画面の左下にある**●ボタン**をクリックし、アプリビューを表示します。

アプリビューの「KozoSystem」のグループから[k-Server Ver.2 設定]  $\bigotimes$  [k-Server Ver.2(Windows **サービス版**) 設定] 😵 のいずれかをクリックすると、k-Server 設定ダイアログが表示されます。

#### Microsoft Windows 10の場合

Windows の🗄 (スタート)ボタンをクリックし、スタートメニューを表示します。

スタートメニューから[KozoSystem]→[k-Server Ver.2(Windows サービス版)設定]をクリックすると、 k-Server 設定ダイアログが表示されます。

🥻 K-Server設定		×
ーサーバーIPアドレスの自動配信―― 受信ポート(R) 送信ポート(S)	10001	0K キャンセル
- クライアントプログラムとの通信用 ライセンス発行用ポート(N)	10003	
k-Serverエージェントとの通信用― 汎用ポート(G)	10004	初期値(D)
「k-Serverのメンテナンスの設定」 ▼ メンテナンス機能を有効にする ・ 毎日 ○ 毎週 日 ○ 毎週 ※指定された時刻にライセンス情	(M) 日 <mark>5 合</mark> 時 春服などの初期代	● <u>●</u> 分 透行にます。
サーバーIPアドレスの設定 「 IPアドレスを指定する(F) 0 0 0	0	0

#### ①サーバーIP アドレスの自動配信

#### [受信ポート]

サーバーIPアドレスの自動配信用のポート番号を設定します。 クライアントからのサーバーの検索を行う際に、受け口となるポート番号です。 (クライアントプログラムの送信ポートと同じポート番号を設定してください。)

#### [送信ポート]

サーバーIP アドレスの自動配信用のポート番号を設定します。 クライアントへサーバーの存在を知らせる際に、送り口となるポート番号です。 (クライアントプログラムの受信ポートと同じポート番号を設定してください。)

#### ②クライアントプログラムとの通信用

#### [ライセンス発行用ポート]

ネットワーク版アプリケーションを使用するためのライセンス情報のやり取りを行うポート番号です。 (ネットワーク版アプリケーションの「ネットライセンス」のポートと同じポート番号を設定してく ださい。)

#### ③k-Server エージェントとの通信用

#### [汎用ポート]

k-Server エージェントとのライセンス情報のやり取りを行うポート番号です。 (k-Server エージェントの「k-Server エージェント」の汎用ポートと同じポート番号を設定してくだ さい。)

#### ④k-Server のメンテナンスの設定

#### [メンテナンス機能を有効にする]

k-Server のライセンス管理プログラムを定期的に再起動させたい場合にチェックします。

メンテナンス機能では、実際に k-Server プログラムを再起動するわけではありません。

クライアントコンピューターの不調などによりネットワーク版アプリケーションの使用済みライセンスが開放されない場合や、k-Server の長期にわたる連続運用によるライセンス管理の不調を未然 に防ぐ目的の為にご利用下さい。

メンテナンスの設定時刻になりますと一旦ライセンス管理が終了します。接続しているクライアント 側では k-Server への接続が行えなくなります。メンテナンスの設定時刻から1分後に再度ライセン スプログラムが起動します。その後、次のライセンス管理の設定時刻まで k-Server を利用すること が可能です。

メンテナンスの設定時刻は、夜中などネットワーク版アプリケーションを使用しない事が想定される 時刻に設定することをお勧めいたします。

#### ⑤サーバーIP アドレスの設定

複数のネットワークカードが存在する場合などに使用します。

k-Server のライセンス管理プログラムを指定した IP アドレスで動作させる場合に「IP アドレスを指 定する」をチェックします。動作させたい IP アドレスは「.」で区切られたそれぞれ区分ごとに各欄へ 値を入力します。IP アドレスはコンピューターに割り当てられた正しい値の内でなければなりません。

※ネットワーク版を使う場合には、「ライセンス発行用ポート」で設定するポートは、k-Server の動作しているコンピ ューターや、ネットワーク版を使用するクライアントコンピューター側で必ず開放してください。 それ以外のポートは、必要に応じてポートの閉鎖などの処理を行ってください。 また、全てのポートは同じ番号にすることは出来ません。

- ※WindowsのOSにはファイアウォール機能があります。この機能は、許可しないポート番号での通信を出来ないようにすることで、そのパソコンのセキュリティを向上させるものです。サーバープログラムが起動しているパソコンのファイアウォール機能が有効になっている場合に、k-Serverで使用している通信ポート番号が許可されていないとサーバープログラムと通信することができず、起動できなくなります。ファイアウォールが有効になっている場合に、ネットワーク版を使用するには、k-Serverプログラムが実行されているパソコンで、必要な通信ポートを開放しなければなりません。通信ポートを開放する手順につきましてはネットワーク管理者にお問合せ下さい。
- ※メンテナンス機能は、それによって完全な k-Server の長期連続運用を保証するものではありません。長期連続運用に 当たりましては、k-Server のメンテナンス機能と合わせて、Windows のタスクマネージャによるプログラムの起動 終了のスケジューリング (k-Server(Windows サービス版)の場合はサービスのプロパティによる回復設定など)を設 定することをお勧めします。

# 2 k-Server エージェント

ライセンス利用状況の確認を行う「k-Server エージェント」の使用方法のリファレンスです。

# ■k-Server エージェントの起動方法

k-Server には、ライセンスの利用状況の確認が行えるユーティリティプログラム「k-Server エージェント」が付属しています。k-Server エージェントは、k-Server が起動していることを確認後、起動します。 以下の手順で起動します。

#### 手順1 : Microsoft Windows 8.1 の場合

[スタート]画面の左下にある 「ボタンをクリックし、アプリビューを表示する アプリビューの「KozoSystem」のグループから、[k-Server エージェント Ver.2]のプログラムア イコン 「をクリックします。

Microsoft Windows 10 の場合 Windows の $\bigoplus$  (スタート)ボタンをクリックし、スタートメニューを表示する スタートメニューから[KozoSystem]→[k-Server エージェント Ver.2]をクリックします。

#### 手順2 : サーバーへの接続ダイアログが表示される

ユーザー名は、自分の名前(ニックネームなど任意の名前)を入力します。 サーバーの IP アドレスは、k-Server が起動しているコンピューターの IP アドレスを入力し ます。

🛃 サーバーへの接続	×
ユーザー名(U)	
AAAAAAA	
サーバーのIPアドレス(1)	
000.00.000	•
OK キャンセル	設定(E) >>

入力後、[OK]ボタンをクリックすると、k-Server エージェントが起動し、タスクトレイにアイコンが表示されます。



## 補足

・k-Server の設定で通信用のポート番号を変更している場合は、[設定] ボタンをクリックします。

ダイアログが追加表示されたら、	各ポート番号を	k-Server $\mathcal{O}$	設定値に
変更してください(詳細は「1.k	-Server k-Se	rver 設定」を	:参照)。

🛃 サーバーへの接続	×
ユーザー名(U)	
AAAAAAA	
サーバーのIPアドレス(1)	検索
000.00.000	-
OK ++v21	設定(E) <<
○「k-ServerIージェント」の汎用ボート(G)	10004
○「サーバーのIPアドレス」の検索(S)	
・送信ポート	10001
・受信ポート	10002
	祁刀期/值(D)

#### ●リファレンス編

# ■ポップアップメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。

k-ServerI-ジェントの終了(E)
バージョン情報(A) ヘルプ(H)
設定(S) ネットライセンス管理(L)

#### ①k-Server エージェントの終了

k-Server エージェントを終了します。

#### ②バージョン情報

k-Server エージェントのバージョン情報を表示します。

k-ServerI-	ジェントのバージョン情報	
52	k-Serverエージェント Ver.2 Version 2.2.2.2 Copyright (C) 2020 KOZO S	OK YSTEM,INC.

#### ③ヘルプ

Adobe Reader が起動し、k-Server Ver.2 導入マニュアルを PDF 文書で表示します(詳細は「はじめに お読みください」を参照)。

#### ④設定

k-Server エージェントの設定ダイアログが表示されます。

🔀 k-ServerIージェントの設定	×
常に手前に表示	OK
□ ネットライセンス管理	キャンセル

#### [常に手前に表示]

[ネットライセンス管理]をチェックすると、それぞれのウィンドウ表示の際、どのウィンドウにも隠れな いウィンドウにします。

ただし、複数の「常に全面に表示」するウィンドウがある場合には、ウィンドウが隠れることがあります。

#### ⑤ネットライセンス管理

ネットライセンス管理ダイアログが表示されます。

上部には、接続した k-Server が管理するアプリケーションとシリアル番号、ライセンス数、現在起動 しているライセンス数が表示されます。

下部には、ネットワーク版アプリケーションを起動しているユーザーのユーザー名、IP アドレス、起動時間が表示されます。

🐼 ネットライセンス管理 ( 111.11.	1.111)			×
アフリケーション名	シリアル番号	ライセンス数	起動数	^
BUS-6/BUS-5 Ver.1x	999999	20	0	
MDRA-CAD18	123456	12	1	
ADRA-CADアソシエイト	1412	6	0	
				Ŷ
<				>
<u>ユーザー名</u> IP:	アドレス	起動時間		
MAAAAAAA 00	0.00.0.000	2020/01/17(	Fri) 11:16:41	



ネットワーク版アプリケーションの起動方法のリファレンスです。

# ■ネットワーク版アプリケーションの起動方法

k-Server が起動していることを確認後、ネットワーク版アプリケーションを起動します。 k-Server と通信するためにいくつかの手順が必要になります。

#### 手順1 : ネットワーク版アプリケーションを起動する

ネットワーク版アプリケーションを起動します(起動方法は、それぞれのアプリケーションの マニュアルを参考にしてください)。

#### 手順2:サーバーへの接続ダイアログが表示される

ユーザー名は、自分の名前(ニックネームなど任意の名前)を入力します。 サーバーの IP アドレスは、k-Server が起動しているコンピューターの IP アドレスを入力し ます。

🐼 サーバーへの接続	5	×
ユーザー名(U)		
ААААААА		
サーバーのIPアド	レス(1)	検索
000.00.000		▼
01	- Hereiter	
	++721	

入力後、[OK]ボタンをクリックすると、サーバーへ接続します([キャンセル]ボタンをクリックすると、接続を終了します)。

ライセンスが承認されれば、そのままネットワーク版アプリケーションを実行することができます。

#### 補足

- ・ネットワーク版アプリケーションの起動中は、k-Serverを終了させないでください。 また、何らかの原因でk-Serverが異常終了した場合、またはライセンスサーバーとして使用しているコンピューター が異常をきたした場合には、ライセンスサーバーを再起動し、そのとき利用していたネットワーク版アプリケーショ ンの再起動をしてください。
- ・k-Serverの設定で通信用のポート番号を変更している場合は、[設定]ボ タンを押します。

タイア	ログが表示され	たら、谷ボー	ト番号を k-Server	の設定値に変更
してく	ださい(詳細は	$\lceil 1  .  k\text{-}Server$	■k-Server 設定」	を参照)。

🐼 サーバーへの接続	×
ユーザー名(U)	
ААААААА	
サーバーのIPアドレス(1)	検索
000.00.00	•
OK ++>セル	
○「k-Serverエージェント」の汎用ポート(G)	10004
〇「サーバーのIPアドレス」の検索(S)	
・送信ポート	10001
・受信ポート	10002
	初期値(D)



1.トラブルシューティング	18
2. Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法	20
<u></u>	



k-Server に関するいくつかの現象について説明します。

## ■ネットワーク版アプリケーションが起動しない

#### ●「サーバーに接続できませんでした。」エラーが表示される

k-Server が起動しているか確認してください。

k-Server が起動している場合、入力した IP アドレスが間違っている可能性があります。

k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスをもう一度調べ、正しい IP アドレスを入力し てください。

k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスを調べるには、タスクトレイの k-Server アイ コンの上にマウスカーソルを置いてください。しばらくすると IP アドレスが表示されます。

※k-Server (Windows サービス版) ではタスクトレイには表示されません。

また使用するネットワーク版のアプリケーションのシリアル番号が、ネットワーク版アプリケーション のセットアップ時に入力したものと、ライセンスモジュールに登録してある番号が違っている場合が考 えられます。

ライセンスモジュールに登録されているシリアル番号は、k-Server エージェントのライセンス管理で 見ることができます。ネットワーク版アプリケーションのシリアル番号を違っている場合は、ネットワ ーク版アプリケーションのセットアップをし直してください。

それでもこのエラーが表示される場合、ネットワークの設定が正しくない場合が考えられます。ファイ アウォールなどにより通信用のポートが塞がれている場合は、ネットワーク管理者に k-Server で必要 とするポート(詳細は「リファレンス編 1.k-Server ■k-Server 設定」を参照)を開放してもらって ください。

#### ●「このアプリケーションに対応できないサーバーに接続しました。k-Server のバージョンを最 新版に更新して下さい。」エラーが表示される

k-Server を一度終了して、k-Server の起動しているコンピューターへ最新版の k-Server をインストー ルしてください。

最新版へのアップデートは構造システムグループオンラインサービスダウンロードセンター (http://support.kozo.co.jp/download/)においてアップデートプログラムのダウンロードができます。

#### ●「サーバーがこのアプリケーションに対応していません。このアプリケーションに対応してい るサーバーに接続してください。」エラーが表示される

k-Server を一度終了して、k-Server の起動しているコンピューターに正しくライセンスモジュールが 接続されているか確認し、もう一度 k-Server を起動してください。

k-Server エージェントを起動し、「ネットライセンス管理」メニューで表示されるウィンドウ上部に購入されたライセンスが正しく表示されているか確認してください。

#### ●「ライセンス数オーバーしています。」エラーが表示される

購入されたライセンス数分のネットワーク版アプリケーションが起動しているために、起動することが 出来ません。また、購入されたライセンス数分起動していないのにも関わらず、起動できない場合、k-Server エージェントを起動し、「ネットライセンス管理」メニューで表示されるウィンドウ上部に購入 されたライセンスが正しく表示されているか確認してください。

### ■k-Server エージェントが起動しない

#### ●「指定された IP アドレスではサーバーが起動していません。」エラーが表示される

k-Server が起動しているか確認してください。 k-Server が起動している場合、入力した IP アドレスが間違っている可能性があります。 k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスをもう一度調べ、正しい IP アドレスを入力し てください。 k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスを調べるには、タスクトレイの k-Server アイ

コンの上にマウスカーソルを置いてください。しばらくすると IP アドレスが表示されます。

それでもこのエラーが表示される場合、ネットワークの設定が正しくない場合が考えられます。

#### ●「このアプリケーションに対応できないサーバーに接続しました。」エラーが表示される

接続先が正しい場合は、k-Server エージェントを最新版にアップデートしてください。 それでもこのエラーが表示される場合、k-Server を最新版にアップデートしてください。 最新版へのアップデートは構造システムグループオンラインサービスダウンロードセンター (http://support.kozo.co.jp/download/)においてアップデートプログラムのダウンロードができます。

## ■その他の現象

#### ●ライセンスモジュールを途中で外した場合

Windows サービス版として k-Server を動作させている場合は、ライセンスモジュールを途中で外されても警告メッセージが表示されません。

k-Server の再起動を促すメッセージが表示されますが、サービスで k-Server を使われる場合は、k-Server エージェントやネットワーク版アプリケーションで表示されるエラーメッセージを元に k-Server の再起動を行ってください。

20

●付録

# 2 Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法

ネットワーク版では、k-Server とネットワーク版アプリケーションとの間で通信を行います。

Windows では、Windows ファイアウォール機能があります。ここでは、Windows ファイアウォールを有効に した場合に、ネットワーク版を使用する方法について説明します。

※サーバープログラムが起動しているパソコンのファイアウォール機能が有効になっている場合、k-Server プログラムと、 ネットワーク版で使用している通信ポート番号が許可されていないとサーバープログラムと通信することができず、起動 できません。

各機能に必要な設定は以下の通りです。

機能	名称**	ポート番号	TCP/UDP
受信ポート	k-Server IP アドレス受信ポート	受信ポートの設定値 (既定値は 10001)	ТСР
送信ポート	k-Server IP アドレス送信ポート	送信ポートの設定値 (既定値は 10002)	ТСР
ライセンス 発行用ポート	k-Server ライセンス発行用ポート	ライセンス発行用ポートの設定値 (既定値は 10003)	ТСР
汎用ポート	k-Server 汎用ポート	汎用ポートの設定値 (既定値は 10004)	TCP

※名称は任意です。

### 補足

・市販のセキュリティーソフトのファイアフォール機能を有効にしている場合は、お使いのセキュリティーソフトでファイアフォールの設定を行う必要があります。
 お使いのセキュリティーソフトの設定で、上記の表にある必要な機能のポート番号を追加してください。
 セキュリティーソフトでのポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティーソフトの取り扱い説明書、またはセキュリティーソフト供給元にお問い合わせください。

## ■設定方法

Windows ファイアウォールが有効になっている場合に、ネットワーク版を使用するには、k-Server が実 行されている(ライセンスモジュールの付いている)パソコンで、k-Server プログラムと、必要な通信ポ ートを開放しなければなりません。

まず、ネットワーク版を使用するために以下の手順で、ファイアウォールの設定を確認します。

#### 手順1 : Windows ファイアウォールを表示する

Windows 8.1 の場合

①Windows の **↓ (スタート)ボタン**を右クリックし、ポップアップメニューを表示します。 [コントロールパネル]をクリックします。

②コントロールパネルから[システムとセキュリティ]→[Windows ファイアウォール]をクリックす ると、Windows ファイアウォールが表示されます。

#### Microsoft Windows10の場合

①Windows の (スタート)ボタンをクリックし、スタートメニューを表示します。 スタートメニューから[Windows システムツール]→[コントロールパネル]をクリックします。

②コントロールパネルから[システムとセキュリティ]→[Windows Defender ファイアウォール]をク リックすると、Windows ファイアウォールが表示されます。

#### 手順2 : ファイアウォールの設定を確認する

▼ 例) Windows10

Windows ファイアウォールが無効な場合は、k-Server はそのまま利用可能ですが、画面のよう に Windows ファイアウォールが有効な場合は、k-Server は利用できません。受信と送信の規 則で許可すると k-Server は利用可能になります。

•	<b>P17</b>		
1	Windows Defender ファイアウォール		- 🗆 X
÷	> · 🛧 🔗 « システムとセキ:	ュリティ > Windows Defender ファイアウォール	✓ ひ ノントロール パネルの検索
	コントロール パネル ホーム	Windows Defender ファイアウォールによ	る PC の保護
	Windows Defender ファイアウォー ルを介したアプリまたは機能を許可	Windows Defender ファイアウォールによって、ハッカー したアクセスを防止できるようになります。	または悪意のあるソフトウェアによるインターネットまたはネットワークを経由
•	通知設定の変更	📕 👽 プライベート ネットワーク(R)	接続されていません 😔
Ģ	Windows Defender ファイアウォー ルの有効化または無効化	● ゲストまたはパブリック ネットワー	ク(P) 接続済み 🔿
•	既定値に戻す	☆洋 嘲笑店など 八世の場のネットローク	
•	詳細設定	空港、喫茶店など、公共の場の不少ドワーク	
	ネットワークのトラブルシューティング	Windows Defender ファイアウォールの状態:	有効
		着信接続:	許可されたアブリの一覧にないアプリへのすべての接続をブロ ックする
		アクティブなパブリック ネットワーク:	── ネットワーク
		通知の状態:	Windows Defender ファイアウォールが新しいアプリをブロック したときに通知を受け取る
	関連項目		
	セキュリティとメンテナンス		
	ネットワークと共有センター		

Windows ファイアウォールを有効にしたままで k-Server の通信を許可する方法を説明します。

手順1 : セキュリティが強化された Windows ファイアウォールを表示する

Windows ファイアウォールの左側にある[詳細設定]をクリックします。

6	Windows Defer	nder ファイアウォール			×
÷	- > • <b>†</b>	💣 « システムとセキ	キュリティ → Windows Defender ファイアウォール		
	コントロール パネル	レホーム	Windows Defender ファイアウォールによ	:る PC の保護	
	Windows Defer ルを介したアプリま	ider ファイアウォー たは機能を許可	Windows Defender ファイアウォールによって、ハッカー したアクセスを防止できるようになります。 	または悪意のあるソフトウェアによるインターネットまたはネットワークを経由	
Ģ	通知設定の変更		✓ プライベート ネットワーク(R)	接続されていません 😔	
•	・Windows Defer ルの有効化または	ider ファイアウォー は無効化		-ク(P) 接続済み 🔿	
	<ul> <li>既定値に戻す</li> <li>詳細設定</li> </ul>	Г	空港、喫茶店など、公共の場のネットワーク		
-	ネットワークのトラ	ブルシューティング	Windows Defender ファイアウォールの状態:	有効	
			著信接続:	許可されたアプリの一覧にないアプリへのすべての接続をプロ ックする	
			アクティブなパブリック ネットワーク:	── ネットワーク	
			通知の状態:	Windows Defender ファイアウォールが新しいアプリをブロック したときに通知を受け取る	
	関連項目 セキュリティとメン: ネットワークと共有	テナンス 『センター			

**手順2**: Windows ファイアウォールに受信の k-Server の通信を許可する項目を追加する 左側メニューの[受信の規則]をクリックし、右側メニューの[新しい規則]をクリックします。

🔗 セキュリティが強化された Windows	Defender ファイアウォール						- 0	×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ^	Jレプ(H)							
🗢 🍬 🖄 📰 🗟 🖬								
🝻 ローカル コンピューター のセキュリティ:	受信の規則						操作	
受信の規則	名前	グループ	プロファイル	有効	操作	^	受信の規則	
Mail 121100元月 1311 接続ヤキュリティの規則	🔇 BUS-6 Series Ver. 1		パブリック	はい	許可		🐹 新しい規則	
> 题 監視	🔮 BUS-6 Series Ver. 1		パブリック	はい	許可		▼ プロファイルでフィルター	•
	Ø DOC-WL		パブリック	はい	許可		▼ 状能でつくルター	•
	OC-WL		パブリック	はい	許可			
	✓ DSST1 77 リケーション		パブリック	はい	許可		Y 010−J €J4109−	•
	✓ DSST1 77 <sup>™</sup> リケーション		パブリック	はい	許可		表示	•
	MOUSE-WL		パブリック	はい	許可		◎ 最新の情報に更新	
	MOUSE-WL		パブリック	はい	許可			
	🔮 k-Agent Ver.2		パブリック	はい	許可		📑 一覧のエクスホート	
	🔮 k-Agent Ver.2		パブリック	はい	許可		👔 ヘルプ	
	🔮 Microsoft Office Outlook		パブリック	はい	許可			
	🔮 建築2D-3D CAD DRA-CAD18		パブリック	はい	許可			
	🔮 建築2D-3D CAD DRA-CAD18		パブリック	はい	許可			
	🔇 @{Microsoft.AAD.BrokerPlugin	@{Microsof	ドメイン, プ	はい	許可			
	🔇 @{Microsoft.Windows.CloudEx	@{Microsof	ドメイン, プ	はい	許可			
	🔇 @{Microsoft.Windows.CloudEx,	@{Microsof	ドメイン, プ	はい	許可	~		
< >	<				>			

#### 手順3 :新規の受信の規制ウィザードが表示される

①「プログラム」が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	種类類を選択してください。	
<ul> <li>入テック:</li> <li>規則の種類</li> <li>ブログラム</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	<ul> <li>ごの種類の規則を作成しますか?</li> <li>プログラム(P) プログラムの住意使を制御する規則です。</li> <li>プレームの住意使を制御する規則です。</li> <li><b>不られて、</b></li> <li><b>不られて、</b></li> <li><b>不らたで、</b></li> <li><b>小の方を流てた</b></li> <li><b>小の方とへり</b>エン入のために接続を制御する規則です。</li> <li><b>カスタムの規則です。</b></li> </ul>	
	< 戻る(B) 次へ(U) > キャンセル	

②[参照]ボタンをクリックし、k-Serverのプログラム(k-Server.exe)を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザード		×
この規則が一致するプログラムのデ	B全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
<ul> <li>入方ック:</li> <li>利息りの種類</li> <li>クログラム</li> <li>操作</li> <li>フロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? ・ すべてのプログラム(A) 他の規則(のプロ)くティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 ・ ・ の つログラムの人な(D) 「WrogramFiles% (x88)¥KozoSystem¥k-Server Ver 2(Windowsサービス版)」 参照(D) ・ が こ * Path¥programexe % ProgramFiles% # Prowser* # Prowser exe	)

※k-Server のインストール先フォルダを指定してください(32bit OS ではパス名の表示が異なります)。

[k-Server(Windows サービス版)]

C:\Program Files (x86)\KozoSystem\k-Sever Ver.2(Windows サービス版)

[k-Server]

C: ¥Program Files (x86) ¥Kozo<br/>System ¥k-Sever Ver.2 ③「接続を許可する」が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



④すべての項目が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

※お使いの組織のセキュリティ方針によって、選択する項目は適切に選択してください。

新規の受信の規則ウィザ−ド		×
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイル?	も指定してください。	
ステッチ:         規則の運動費         フログラム         速作:         クロファイル         名前	この規則はいつ適用しますか?	

- ⑤「名前」と「説明」欄を入力し、[完了]ボタンをクリックします。
  - ※入力する内容は何でも構いません。何のための規則なのか後で分かるような内容にしておくことをお 勧めします。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
名前		
この規則の名前と説明を指定してください。		
ステップ:		
● 規則の種類		
● プログラム		
● 操作		
วัยวิศามี	名前(N): Iz-Server	
<ul> <li>名前</li> </ul>		
	記切り(オブション)(D): k=Serverのプログラムの注意(言を注意すします	
	K ORIVERST STORES	
	< 戻る( <u>B</u> ) <u>完了(F)</u> キャンセ	Л

#### 手順4 :通信に使うポート番号を登録する

手順2と同様に、左側メニューの[受信の規則]をクリックし、右側メニューの[新しい規則]をクリックします。

#### 手順5 :新規の受信の規制ウィザードが表示される

①「ポート」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	重類を選択してください。	
ステップ		
● 規則の種類	との種類の規則を作わなすか?	
プロトコルおよびポート	○ プロガラト(P)	
■ 1771 1 177	プログラ人の接続を制御する規則です。	
■ 70771ル	● ポート(0)	
● 治則	TCP または UDP ポートの接続を制御する規則です。	
	○ 事前定義(E):	
	@FirewallAPIdll,-80200 🗸	
	Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。	
	<ul> <li>カスタム(C)</li> <li>カスタムの規則です。</li> </ul>	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

- ②「TCP」が選択されていることを確認して「特定のローカルポート」欄に「10001-10004」と 入力し、[次へ]ボタンをクリックします。
  - ※「k-Server 設定」で各ポート番号を変更している場合は、「k-Server 設定」で設定をしている番号を 登録します(詳細は「リファレンス編 1.k-Server ■k-Server 設定」を参照)。

💣 新規の受信の規則ウィザード		$\times$
プロトコルおよびポート		
この規則を適用するプロトコルとポー	- トを指定してください。	
ステ <del>ップ</del> :		
<ul> <li>規則の種類</li> </ul>	TCP と UDP のとちらにこの規則を適用しますか?	
● プロトコルおよびポート	• TCP(I)	
● 操作		
<ul> <li>プロファイル</li> </ul>		
● 名前	すべてのローカル ボートと特定のローカル ボートのとちらを対象にこの規則を適用するかを踏択し てください。	
	○ すべてのローカル ボート( <u>A</u> )	
	● 特定のローカル ボート(S): 10001-10004	
	例: 80、443、5000-5010	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	
1		

③「接続を許可する」が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザ−ド		×
操作		
規則で指定された条件を接続が消	むす場合に、実行される操作を指定します。	
ステ <del>ップ</del> :		
● 規則の種類	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?	
<ul> <li>プロトコルおよびポート</li> </ul>	<ul> <li>         · 接続を許可する(A)     </li> </ul>	
<ul> <li>● 操作</li> <li>● ポート</li> </ul>	IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。	
<ul> <li>ノリノア1ル</li> <li>タ前</li> </ul>	○ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)	
· -080	Insec を使用して認識された後期ののを含めます。後期は、Insec プロハディトの意味をと登録。 セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。	
	カスタマイズ(2)	
	○ 接続をブロックする(些)	
	< 戻る(B) 次へ( <u>M</u> ) > キャンセル	

#### 2. Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法

④すべての項目が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

※お使いの組織のセキュリティ方針によって、選択する項目は適切に選択してください。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイル・	を指定してください。	
<ul> <li>ステック:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか? ・ ドメイン(D) コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。 ・ プライベート(P) コンピューターが自宅や職場などのフライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。 ・ パブリック(D) コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。 ( 戻る(B) 次へ(M) ) キャンセル	

⑤「名前」と「説明」欄を入力し、[完了]ボタンをクリックします。

※入力する内容は何でも構いません。何のための規則なのか後で分かるような内容にしておくことをお 勧めします。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
名前		
この規則の名前と説明を指定してく	ださい。	
ステップ:		
● 規則の種類		
フロトコルおよびポート		
● 操作		
<ul> <li>プロファイル</li> </ul>	名前(N):	
各前	k-berver ICP/IP	
	説明 (オプション)(D):	
	k-Serverが使用する通信ボートを利用可能にします。	
	< 戻る(B) 完了(F) キャンセ	л

手順6 : Windows ファイアウォールに送信の k-Server の通信を許可する項目を追加する

<b>送信の規則]</b> をクリックし、右側メニューの <b>[新しい規則]</b> をクリック	します。
<b>5信の現則</b> をクリックし、石側メニューの <b>[新しい現則]</b> をクリック	しま

🔗 セキュリティが強化された Windows	Defender ファイアウォール						— C	) ×	<
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) へ	ルプ(H)								
🗢 🄿 🞽 🖬 🗟 🖬									
🎡 ローカル コンピューター のセキュリティ:	送信の規則						操作		_
■ 受信の規則	名前	グループ ^	プロファイル	有効	操作	^	送信の規則		
Mail 法語サキュリティの規則	🔇 @{Microsoft.AAD.Broke	@{Microsoft.AAD.Bro	すべて	はい	許可	-6	📉 新しい規則		
> 1. 監視	🔇 @{Microsoft.AccountsC	@{Microsoft.Account	すべて	はい	許可		▼ プロファイルでフィルター		•
	@{Microsoft.LockApp	@{Microsoft.LockApp	すべて	はい	許可		▼ 状能でフィルター		
	@{Microsoft.MicrosoftE	@{Microsoft.Microsof	すべて	はい	許可				ĺ
	@{Microsoft.MicrosoftE	@{Microsoft.Microsof	<b>र</b> ्ट	はい	許可		¥ 9/0-7 C71/09-		•
	@{Microsoft.PPIProjecti	@{Microsoft.PPIProje @[Microsoft DDIProje	9 /\ ( 18 17 11 m/7	140	計列 地面		表示		•
	@{Microsoft Windows	@{Microsoft Window	オバア	(\$1.)	許可		<ul> <li></li></ul>		
	@{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	すべて	はい	許可		🌛 一覧のエクスポート		
	@{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	すべて	はい	許可		2 ヘルプ		
	🔇 @{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	すべて	はい	許可	11			
	🔇 @{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	すべて	はい	許可				
	🔮 @{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	すべて	はい	許可				
	@{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	すべて	はい	許可				
	@{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	すべて	はい	許可				
	@{Microsoft.Windows	@{Microsoft.Window	<u>র</u> ^7	はい	許可	~			
< >>	<				>				

#### 手順7 :新規の受信の規制ウィザードが表示される

手順3と同様に、k-Server プログラムを設定します。

● 新規の送信の規則ウィザード		×
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>ブログラム</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	どの種類の規則を作成しますか? ・ ・ の すびうムの接続を制御する規則です。 ・ ホート(の) TOP または UDP ポートの接続を制御する規則です。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセ	IL

#### 手順8 :通信に使うポート番号を登録する

手順6と同様に、左側メニューの[送信の規則]をクリックし、右側メニューの[新しい規則]をクリックします。

#### 手順9 :新規の受信の規制ウィザードが表示される

手順5と同様に、通信に使うポート番号を登録します。

新規の送信の規則ウィザ−ド		×
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	重類を選択してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>フロトコルおよびボート</li> <li>操作</li> <li>フロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	どの種類の規則を作成しますか?	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

●本プログラムの利用に際して操作方法などで不明な点がございましたら、まず、各マニュアルの該当項目を参照してください。それでもなお、不明な点が解決されない場合は、『はじめにお読みください』に添付している質問用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにて弊社プログラムサポートまでお問い合わせください。

ネットワーク版ライセンス管理プログラム

# k-Server Ver.2 導入マニュアル

- 2014年 10月 初版発行
- 2022年 5月 第3版発行
- 編 者 株式会社 構造システム
- 発行者 安田 正弘
- 発行所 株式会社 構造システム 〒112-0014 東京都文京区関口 2-3-3 目白坂STビル [TEL] 03-6821-1211 〔代〕
  - 03-6821-1311 〔本社営業本部〕

※製品の仕様や登録に関しては、本社営業部までお問い合わせください。